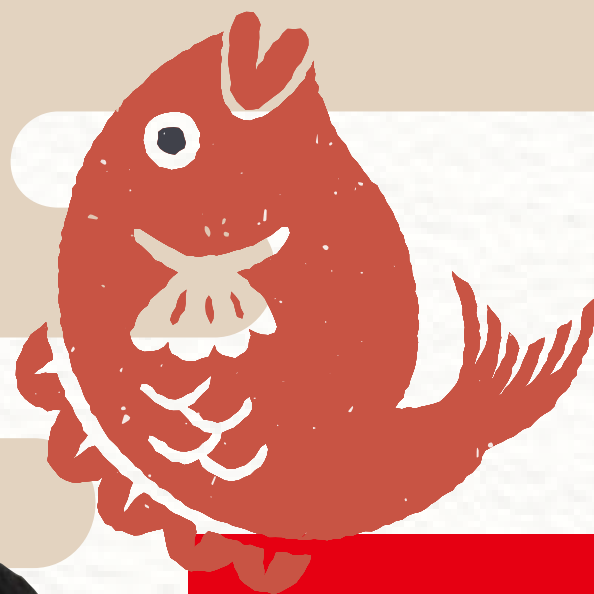


GO!GO!GO! KAIGO!

だから**介護**はやめられない



介護職・阿部さん

同僚と行く 釣りが楽しみ!

利用者さんにうまく気持ちが伝わらない時、同僚たちと話し合い、きちんと問題を解決できる職場なのでいつも頑張れます。

徳島県内の介護施設職員13名が
エフエム徳島から介護の魅力を発信!

家族の 役に立ちたくて 介護を仕事に

父の影響で聴いていた昔の流行歌について、利用者さんと盛り上がる事ができるのは介護の現場ならではのなと思います。

介護職・森さん

20歳の時 祖父の病気が きっかけ

認知症の方でも、ていねいな声かけで、短い言葉ですが「ありがとう」と返していただけるようになると励みになります。

介護職・高橋さん

ありがたいの 言葉に やりがい感じます

「地元の力になれば」と思い、暮らしている町で働いています。利用者さんに、やさしい心で接すれば伝わる仕事です。

介護職・原郷さん

介護の仕事をする 父の背中を追って

就寝や食事の時間を施設が決めるのではなく、利用者さんが自宅で暮らす感覚で利用できるユニットケアのお手伝いをしています。

介護職・西岡さん

子育て、家事、仕事、 3両立の中で資格取得

職場では20代~70代の幅広い年代の同僚たちと働いています。それぞれの年代の持ち味を活かし利用者さんと向き合っています。

ケアマネジャー・加藤さん

保護犬と暮らす 犬の動物好き

「正社員も目指して未永くキャリアを積める仕事」を転職の際に選びました。得られた経験を自分の家族にも役立たせられます。

介護職・川野さん

祖母に恩返し できなかった後悔が 原動力

人と話すことが得意ではないのですが、同僚が気軽に話しかけてくれたり相談事にものってくれるので、楽しく仕事ができています。

介護職・河崎さん

元サラリーマン! 友人に誘われ介護へ

高齢の利用者さんの人生の思い出に「私たちが関わった思い出が加えられる」そんな夢のある仕事だと思います。

介護職・笹岡さん

利用者さんとも 楽しめる 将棋観戦が趣味

食事や風呂、トイレの介助以外にもコミュニケーションやレクリエーションなど楽しませることも仕事。そこがこの仕事の良いところ。

相談員・木藤さん

小さな頃から バレーボール一筋

「人生の最後を一緒に過ごせて良かった」とご本人やご家族におしゃってもらえた時、看取り介護にたずさわって良かったと思います。

ケアマネジャー・田中さん

地元で恩返し したくて 地元で就職を!

資格を取りながら働ける職場なので安心です。利用者さんの素敵な笑顔が見られた時、やって良かったなと思えるんです。

介護職・上野さん

4人の子供と スポーツ観戦 が趣味

子どもが急に体調をくずしたり、親が病気になったりした場面でも、仕事柄、理解が深く、助け合いの土壌があり安心な職場です。

理学療法士・高崎さん

VOICE 13
13通りの介護の仕事

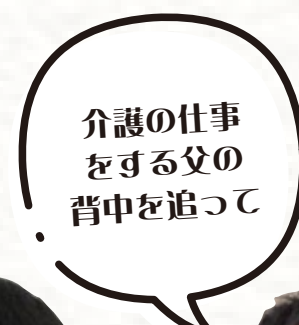
徳島県内の介護施設職員 13 名が
エフエム徳島から介護の魅力を発信！



徳島県老人福祉施設協議会
21 世紀委員会

GO!GO! KAIGO!

だから**介護**はやめられない



VOICE 13
13通りの**介護**の仕事



MESSAGE

最近、「介護」という言葉を耳にすることが多くなってきたと思いませんか。

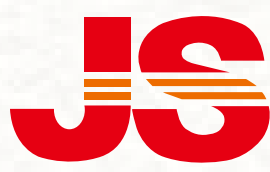
テレビや新聞でも介護の話題はよく出てきますし、もしかすると皆さんの中にも実際に、おじいちゃんやおばあちゃんが介護施設のお世話になっているかもしれませんね。

介護は、お年寄りを笑顔にする仕事です。
認知症になったり、身体が不自由になったりしたお年寄りや障がいのある方の生活を支えています。

私たちは、介護のお仕事やその魅力を発信することを目的に、令和3年11月より、若手職員13名がエフエム徳島のラジオ番組に出演し、森本晴香アナウンサーからのインタビューに答えました。

ぜひ介護の仕事にチャレンジして欲しいです。一緒に働きましょう。

21 世紀委員会は、施設で働く若手職員で構成されています



徳島県老人福祉施設協議会
21 世紀委員会

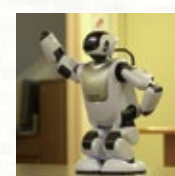
KAIGO NEWS!

福 祉 現 場 今

福祉の現場では、
スピーディに変化する時代に合わせて
「最先端」のサービスが広がっています！

1 ロボット活躍中

介護スタッフの相棒
パルロくんがお手伝い



会話の出来る癒し系コミュニケーションロボット「PALRO」くんが、ダンスや体操、落語などの幅広いネタで施設の利用者さんが一緒に楽しめるレクリエーションを行います。「水分はしっかり飲んでね」「そろそろご飯の時間だよ」と、福祉の現場で重要な声かけも、ばっちり。利用者スタッフを支える相棒として、活躍しています。

2 認知症の人の世界

VRの技術を使って
認知症を知る



今、VR（バーチャル・リアリティ）の技術を使って、認知症の人の「世界」を疑似体験する取り組みが盛んになっています。最新の技術を使って「認知症の人が生きやすい社会を作る」ための取り組みと医療・介護の関係者からも注目されています。認知症でない人が日常にありがちな出来事を通じて認知症の症状を疑似体験しています。

3 音楽で福祉を明るく

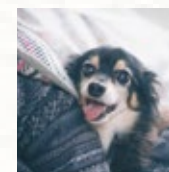
音楽療法士が音楽の持つ力で
生理的・社会的・心理的はたらきを



音楽療法とは、音楽のもつ生理的・社会的・心理的はたらきを用いて、心身の障がいの回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的・計画的に使用すること。音楽療法士という有資格者が、対象者の目的に合わせたプログラムを組み、音楽を演奏したり対象者が音楽にふれる手助けをしたりします。

4 ペットのチカラ

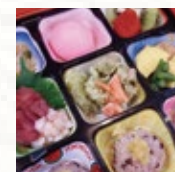
動物との触れ合いで、
心を癒やすアニマルセラピー



動物とふれあうことで、心が落ち着いたり、ストレスが軽減したりなどの癒やし体験を一度はお持ちではないでしょうか。そうしたとき、不思議と元気が出てきたり、自信がついた気分になられたことでしょうか。こうした「動物を通じた癒し」が今、福祉の現場にも活かされています。

5 見て楽しむ食事

通常の食事が難しい方を
摂食回復支援食でサポート



見て楽しみながら、一口一口食べる食事はとても重要です。これまで加齢や病気・障がい等によって通常の食事が摂れない人は、医療現場では静脈栄養や経腸栄養により栄養補給を行っています。そこで見た目も味も普通の食事と変わらない、楽しい食事をするために工夫されたのが、摂食回復支援食であり、介護の現場で期待が高まっています。

6 筋力トレーニング

高齢者だから積極的な
筋力トレーニングが必要



「起き上がる」「立つ」「歩く」「座る」「物を取る」などの日常生活に必要な動作には体のさまざまな筋力を使います。毎日に必要な動きをトレーニングすることで、少しずつ自分で出来ることが増え、行動範囲が広がります。そんな行動が、自信や意欲にもつながり、心身ともに健全化していくのです。スポーツの現場ではあたり前の筋力トレーニングは、今、福祉の現場で求められているのです。

7 インターナショナル

在留資格に「介護」を新設
優秀な外国人のいる介護現場



2016年11月より、外国人の在留資格に「介護」が新設されました。これを受け、介護福祉士養成施設に入学する外国人留学生が増加しています。途上国への技能移転を通じた国際貢献を目的とする「技能実習制度」などと比較して、外国人留学生は専門性や定着の観点から、優秀な人材として注目されています。